



浜松浜北IC ↔ 遠州森町SIC間

新東名高速道路「初」の
本線直結型スマートIC

下野部工業団地
(造成中)

新平山工業団地

新東名高速道路

新磐田スマートIC

トピック

- 1 ようこそ我が町
～ スマートICからスムーズに産業拠点・観光名所へ ～
- 2 東名高速道路沿線の歴史 ～ 富士川スマートICの開設 ～
- 3 担当者の声 ～ (仮称)新磐田スマートIC ～
- 4 お知らせコーナー ～ 静岡県、市町からのお知らせ ～
- 5 静岡県内のIC・スマートICの位置関係と供用予定

●ようこそ我が町 ～スマートICから産業拠点・観光拠点へ～

本スマートICの供用によって、新平山工業団地、造成中の下野部工業団地といった産業拠点及び周辺観光地などへのアクセス向上に期待が高まっています。

スマートIC周辺には、日本トレッキング協会登録の獅子ヶ鼻公園「トレッキングコース」や約4,000本の梅が植えられている「豊岡梅園」、地元で採れた新鮮な農作物を販売している「とよおか採れたて元気村」などがあります。

今、磐田市の旬と言えば ゆるキャラグランプリ2年連続トップ10入りの“しっぺい”です。ぜひ、しっぺいに逢いに磐田市へお越し下さい。



●東名高速道路沿線の歴史 ～富士川スマートICの開設～

現在の富士川スマートIC付近



1970頃の富士川スマートIC付近



東名 富士川スマートICは、平成17年1月から、社会実験による効果検証等を行い、平成19年4月にスマートICとして、本格導入されました。現在では、4,000台/日程度の交通量があります。県内では、遠州豊田スマートICも同時期に本格導入されています。

●担当者の声 ～(仮称)新磐田スマートIC～



平成28年度末の供用開始目標に向け事業実施中！

磐田市 建設部都市整備課 新磐田スマートIC推進班 班長 柿澤秀和

現在事業中の(仮称)新磐田スマートインターチェンジは、平成25年6月11日、国土交通大臣から新東名高速道路と磐田市道下野部敷地線とを接続するための連結許可を受け、平成29年3月の供用開始を目指し、事業を進めています。当スマートインターチェンジは、新東名高速道路では、初となる本線直結型となるETC専用のスマートインターチェンジとなります。

当スマートインターチェンジの特徴としては、隣接する新平山工業団地に直結、造成工事中の下野部工業団地までは車で約3分とインターチェンジを活用した産業拠点整備が進んでいます。現在の事業状況ですが、昨年度、測量・設計業務が完了し、用地買収交渉中であります。

今後も、国土交通省、静岡県及び中日本高速道路(株)東京支社と連携し、供用開始目標に向けて着々と事業を進めていく予定です。

(仮称)新磐田スマートIC 事業概要

- 路線名:新東名高速道路(第二東海自動車道)
- 連結位置:磐田市 敷地 地内(市道下野部敷地線)
- 計画交通量:1,500台/日(平成42年)
- 運用形態:フルインター形式
- 運用時間:24時間
- 対応車種:ETC車載器を搭載した
車長16.5m以下の車両
- 供用目標時期:平成29年3月末

事業費

○全体(概算事業費)	約27億円
〔 磐田市	約8億円
〔 中日本高速道路(株)ほか	約19億円

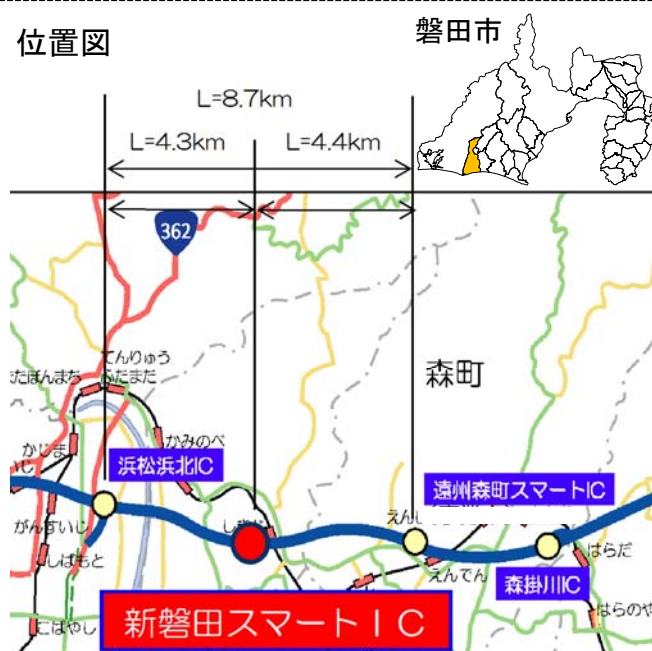
事業経過

平成25年 3月	国土交通省に実施計画書を提出
平成25年 5月	国土交通省に連結許可申請
平成25年 6月	国土交通大臣から連結の許可
平成25年 7月	中日本高速道路株式会社と基本協定の締結
平成26年度～	測量・設計業務、事業用地の取得開始
平成27年度	工事着手予定



ランプ橋(新東名跨道橋)から北を望む

位置図



(仮称)新磐田スマートIC計画図

